ＩＨフライヤーテーブル

取 扱 説 明 書

型式

ＤＶＡ１０ＳＡＡ

ＤＶＢ１４ＳＡＡ

もくじ

■はじめに……１
■各部名称……２
■安全上のご注意……３
●飲料をこぼした場合……９
●運転前の確認……９

■ご使用方法……１０
●操作パネル……１０
●運転の手順……１０
●高低スイッチの設定温度記憶手順……１０

■お手入れ……１１
●日常のお手入れ……１１
●機器外面のお手入れ……１１
●排油方法……１２

■点検……１３
●電源プラグの点検……１３
●保管方法……１３

■故障の見分け方と処置方法……１４

■仕様……１５

保証書・アフターサービスについて……巻末

●このたびは、IHフライヤーテーブルをお買い求めいただきましてまことにありがとうございました。
●この製品を安全に正しく使用していただくために、お使いになる前にこの取扱説明書をよくお読みになり十分に理解してください。
なお、正しくご使用されなかった場合は、保証対象外となります。
●お読みになったあとは必ずいつもお手元においてご使用ください。

CHUBU
株式会社 中部コーポレーション

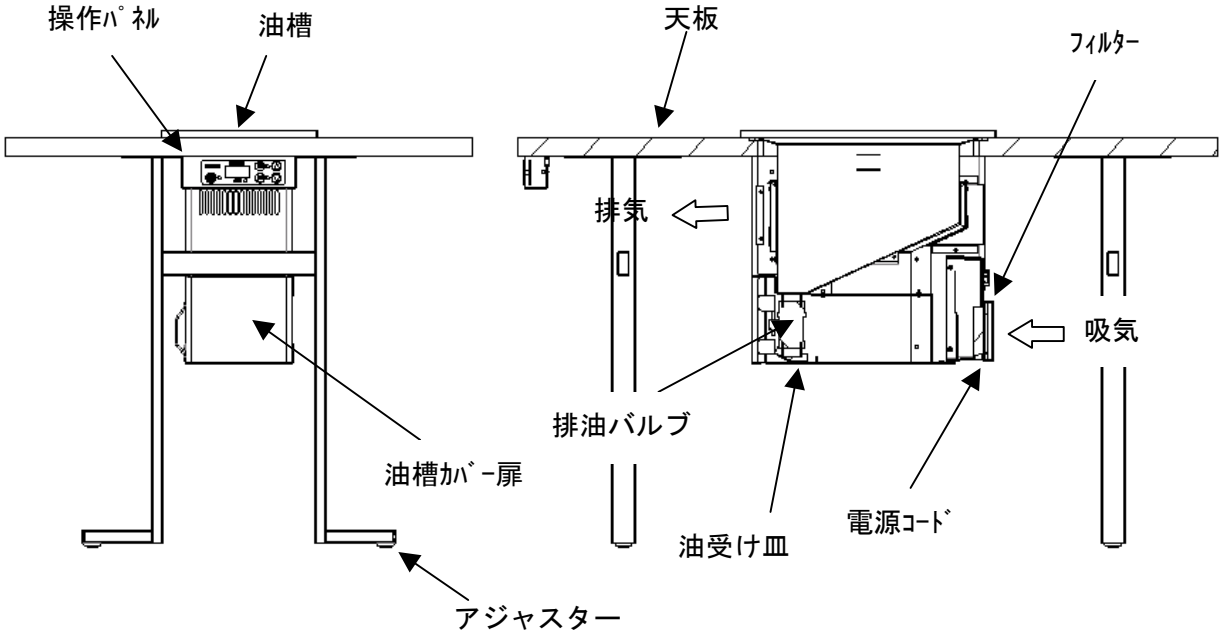
■はじめに

●本機は、必ず「高周波利用設備許可申請」の許可を受けた上でご使用ください。
同梱の高周波利用設備許可申請書類一式にて申請手続きを行なってください。

注意！

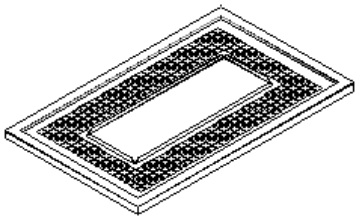
電磁誘導加熱調理器は、電波法第 100 条の規定により予め所轄の総務省総合通信局に高周波利用設備の申請を行い、許可を得た上で使用するように義務付けられています。
未申請のまま使用しますと、電波法違反により、罰則が課せられることがあります。

■各部の名称



■付属品

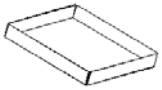
串置き：1 個



網かご：1 個（DVA10SAA）
2 個（DVB14SAA）

フィルター：1 個

油受け皿：1 個



取扱説明書
IH テーブル
フライヤー

取扱説明書（本書）：1 冊

高周波利用設備
許可申請書類
IH テーブル
フライヤー

高周波利用設備許可申請書類：1 式

■安全上のご注意

●ご使用になる前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ正しくお使いください。
●ここに示した注意事項は、安全に関する重大な内容を記載していますので必ず守ってください。
●表示と意味は次のようになっています。

警告	誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が、想定される内容を示します。
注意	誤った取り扱いをすると、人が傷害を負ったり、物的損害の発生が、想定される内容を示します。

＊物的損害とは、家屋・家財および家畜ペットにかかわる拡大損害を示します。

図記号の例

感電注意	△は注意(危険・警告を含む)を示します。 具体的な注意内容は、△の中や近くに絵や文章で示します。 左図の場合は「感電注意」を示します。
分解禁止	⃠は、禁止(してはいけないこと)を示します。 具体的な禁止内容は、⃠の中や近くに絵や文字で示します。 左図の場合は「分解禁止」を示します。
アース工事	●は、強制(必ずすること)を示します。 具体的な強制内容は、●の中や近くに絵や文章で示します。 左図の場合は「アース工事を必ず行うこと」を示します。

警　告

●お手元に届いたら、すぐに運送上の損傷がないかチェックすること
もし損傷があれば販売会社へ損傷の状況を（梱包箱と共に）連絡してください。損傷のまま使用しますと、感電、火災、ケガの原因となります。

損傷確認

●電源コードを傷つけたり、汚さないこと
加工したり、引張ったり、束ねたり、重いものを載せたり、挟み込んだり、また汚したりすると、電源コードが破損し、感電、火災の原因になります。

禁　止

●加熱前・加熱停止後には、油槽内に飲料（水、ｼﾞｭｰｽ等）や異物が入っていないか確認すること
飲料・異物などが油槽内に入ったまま加熱すると、高温の油により水分が蒸発して油槽内から大きな泡が出てくる可能性があります。
油が飛び散り、火災、火傷、ケガなどの原因になります。

要確認

●吸気口、排気口をふさがないこと
ユニット等の温度が高くなり、火傷・機器の故障原因となる恐れがあります。

禁　止

⚠ 警　告

●湿気の多い所や、水のかかり易い場所に据え付けないこと
絶縁低下から漏電、感電の原因になります。

湿気禁止

●屋外で使用しないこと
雨水のかかる場所で使用すると、漏電・感電の原因になります。

屋外禁止

●異常時は運転を停止し、元電源を切って、すぐに最寄の販売店へ連絡すること
異常のまま運転を続けると、感電・火災の原因になります。

元電源 OFF

●本体に水をかけないこと
漏電・感電・火災の原因になります。

水かけ禁止

●子供など取扱に不慣れなかただけで使わせたり、幼児に触れさせたりしないこと
火傷・ケガ・感電の原因になります。

禁　止

●アース工事を必ず行うこと
アース線はガス管、水道管、避雷針、電話のアース線に接続しないでください。アースが不完全な場合は、感電の原因になります。（電気工事業社による第３種接地工事が必要です）

アース工事

●電気配線工事は、電気工事の法的有資格者が行うこと
接続・固定が不完全な場合、漏電・火災の原因になります。

厳　守

●電源は単相２００Ｖを使用すること。
異なる電源を使用すると機器が異常発熱し、機器の破損・火災の原因となる恐れがあります。

専用電源

●油槽内に食用以外の油（灯油、ｶﾞｿﾘﾝ等）・固形油（ﾗｰﾄﾞ等）を入れないこと
機器の破損や、火災の原因となる恐れがあります。

禁　止

●心臓用ペースメーカーをご使用の方が、本機をご使用される場合は、心臓用ペースメーカーの取扱説明書及び担当医師の指示に従うこと
本機の動作がペースメーカーに影響を与える恐れがあります。

医師と相談

●接地 2P20A 引掛けコンセントを設置すること

推奨ｺﾝｾﾝﾄ
パナソニック製：ＷＦ２５２０Ｂ
適正でないコンセントに接続すると、漏電・感電・火災の原因になります。

コンセント形状

設置厳守

⚠ 警　告

●電源プラグは、専用コンセントに接続すること

電源コードは途中で接続したり、延長コードの使用及びタコ足配線をした場合には、感電や発熱、火災の原因になります。

専用ｺﾝｾﾝﾄ

●濡れた手で電源プラグなど電気部品に触れたり、スイッチ類を操作しないこと

感電の原因になります。

濡手禁止

●電源プラグの刃及び刃の取付面にほこりが付着していないか定期的に確認し、ガタツキのないように刃の根元まで確実に差込むこと

ほこりが付着したり、接続が不完全な場合は、感電・火災の原因になります。

点検清掃

●指定された量以上の油は絶対に入れないこと

標準投入油の量は、DVB14SAA（４人用）の時５.８ﾘｯﾄﾙ、
DVA10SAA（２人用）の時２.８ﾘｯﾄﾙです。
油槽の「MIN」の刻印が目安です。「MAX」以上は入れないでください。
加熱時は、油が膨張する為、油槽から油があふれだす危険があります。

禁　止

●油槽、串置き、網かごは熱くなるので、触れないこと

火傷、ケガなどの原因になります。

禁　止

●加熱中あるいは油槽の油の温度が高い時に、油槽に飲料（水、ｼﾞｭｰｽ等）や異物が入ってしまったら、すぐに電源を切り離れること

油槽から油が溢れ出したり、高温の油により水分が蒸発して油槽内から大きな泡が出てくる可能性がある。すると油が飛び散り、火災、火傷、ケガなどの原因になります。
※８ページの「飲料をこぼした場合」を参照ください。

禁　止

●運転中は離れないこと
機器から離れる際は、運転を停止すること

機器が異常過熱した際、火災の原因になる危険性があります。

禁　止

●油槽内に油槽容量分の油が入っているか頻繁に確認すること

油が不足している場合は、異常過熱防止装置が誤動作する可能性があります。
油が油槽容量分より多い場合は、油が膨張して油槽から溢れる可能性があり、火傷、ケガなどの危険性があります。

厳　守

●ご使用になる際は、充分な換気をすること

室内の空気が悪くなり、気分を害する可能性があります。

換　気

●空焚き状態で加熱しないこと

異常加熱防止装置が働くまで加熱するので、油槽が高温になり火災、火傷、ケガ、機器の故障原因になります。

禁　止

●可燃物や引火物を機器のそばに置いたり、近づけたりしないこと

機器周辺に、可燃物（カーテンなど布類、新聞紙など紙類）や引火物（エアゾール缶など）を置くと、爆発・火災の原因になります。

禁　止

⚠ 警　告

●油は油槽容量分の油量で使用すること

油の量を確認し、油槽に油を入れてから電源を入れて使用してください。

禁　止

●排油バルブがしっかりと閉まっていることを確認してから油槽に油をいれること

排油後などは閉め忘れなどがあり、ケガの原因になる可能性があります。

注　意

●絶縁試験（メガーテスト）をしないこと

メガーテストを行うと、製品が焼損または破損します。

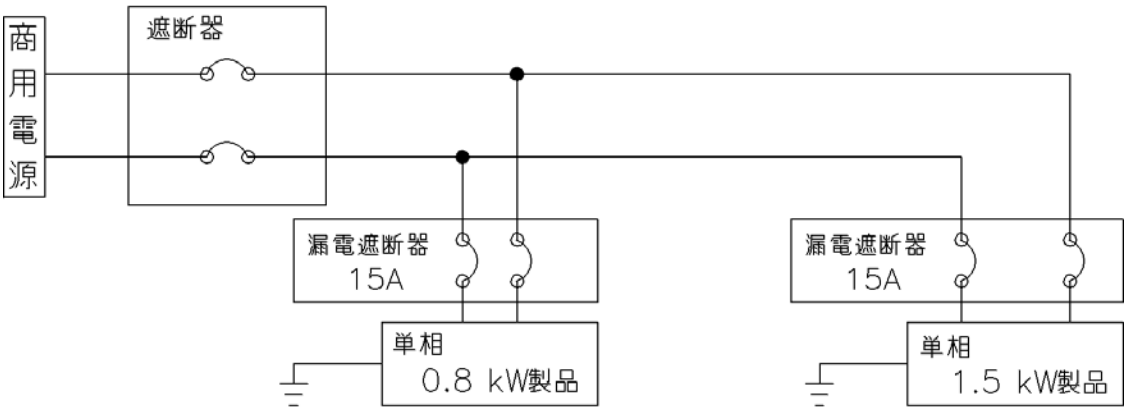
禁　止

●製品１台ごとに１個の漏電遮断器を設置すること
（推奨漏電遮断器：定格電流 15A、感度電流 30mA）

この工事をしないと、異常時に配線が発熱し、火災の原因になります。
定格 15A 以上の漏電遮断器を以下の結線図のように設置してください。

設置厳守

２台設置の場合の結線例



⚠ 注　意

●丈夫で平らな所に水平になるように据え付けること
据え付けに不備があると転倒・落下によるケガなどの原因になることがあります。

水平設置

●本機に水がかかる恐れがある所には設置しないこと
電気部品に水がかかり、火災・漏電・感電の原因になることがあります。

禁　止

●吸気フィルターに目詰まりがないこと
火傷をしたり、電気部品を損傷する原因になることがあります。

目詰注意

●吸気フィルターが取付けられていること
ユニット内にほこりなどがたまり、漏電・火災の原因になります。

取付厳守

●1日の営業が終了したら、安全のため運転を停止し、電源プラグを抜くか、元電源を切ること
電源プラグやコンセント部にほこりが溜まって発熱、発火の原因になることがあります。

元電源 OFF

●電源プラグを抜くときは、電源コードを持って抜かないこと
必ずプラグを持って抜いてください。電源コードを引張るとコードが傷つき、火災・感電の原因になることがあります。

禁　止

●ＩＨフライヤーテーブルを調理以外の目的で使用しないこと
火災の原因になります。

禁　止

●排油は油が十分冷えてから行うこと
油が高温の状態で排油すると、火傷の原因になります。

やけど注意

●排油は静かに少しずつ行うこと
一気に排油を行うと油が跳ねて火傷の原因になります。
跳ねた油が部品等にかかると機器が故障する原因となります。

注　意

●油受け皿を動かす際は気をつけること
ドレインパンを動かす際に、皿に溜まっている油がこぼれることがあります。
油が高温の場合がありますので、火傷の原因になります。

やけど注意

●このお使いになっている製品を他に売ったり、譲渡されるときは、新しく所有者となる方が安全な正しい使い方を知るために、この取扱説明書を製品本体の目立つ所にテープ止めすること

ﾃｰﾌﾟ止め

●廃棄は専門の業者か、最寄の販売会社に依頼すること
放置しますとケガの原因になります。

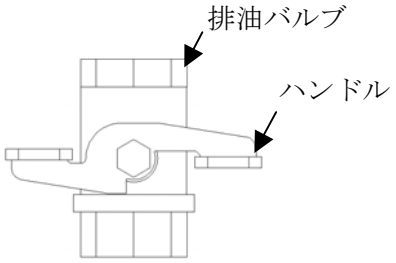
専門業者

⚠ 注　意

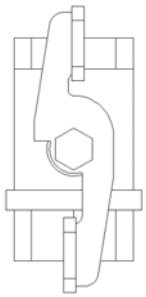
●油槽に油を入れる際は、排油バルブの状態をよく確認すること

排油バルブが完全に閉じていないと油がこぼれます。

★排油バルブのハンドル位置が下図のようになっている状態が[閉]となります。

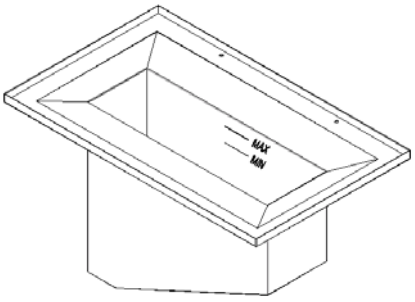


★排油バルブのハンドル位置が下図のようになっている状態が[開]となります。



●油槽の油量は、油槽側面に MAX　MIN　の表示がありますので、その範囲内に油を入れてください。

範囲外ですと、油温を正しく検知できません。



●排油する際は、保護手袋を使用すること

保護手袋を着けていないと火傷、ケガの原因になる可能性があります。

やけど注意

●使用していた油槽内の油が冷えすぎると、排油時に油の流れが悪くなります

注　意

■飲料をこぼした場合

使用中に、飲料などをこぼして油槽内に入ってしまった場合は、下記の指示通りにすること

１、運転停止

●飲料が油槽内に入ったことがわかったら直ちに運転を停止してください。
※油が跳ねているからといって絶対に蓋をしないこと

２、避難

●機器周辺にいる人に、その場から速く避難するように指示してください。

３、油が冷えるまで放置

●油温が充分に冷えないと、排油した際に高温の油と飲料が混ざり、再び突沸現象が起こる危険性があります。

４、排油

●１１ページの「排油方法」を読んで排油してください。

■運転前の確認

１．吸気口、排気口がふさがれていないかを確認します。
●吸気口は、油槽カバー下部背面を確認します。
●排気口は、油槽カバー上部前面を確認します。

２．機器のガタツキを無くします。
●脚で何かを踏んでいないかを確かめ、アジャスターを調整して、油槽を水平にしガタツキを無くします。

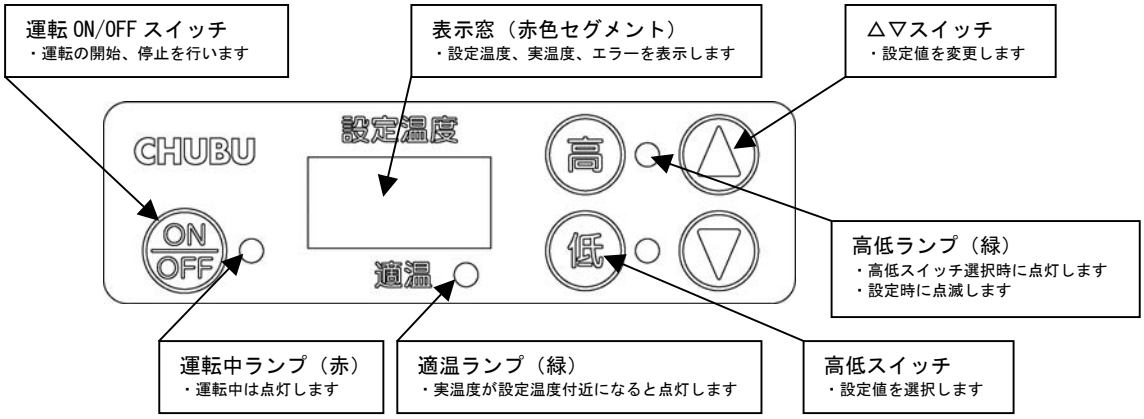
３．フィルターを確認します。
●フィルター（油槽カバー下部背面）が取付けられているか確認します。
●フィルター（油槽カバー下部背面）に目詰まりがないか確認します。

４．電源を投入します。
●漏電遮断器をＯＮにします。表示窓に「.」ドットが点滅表示され、運転待機状態となります。

お願い
初めてお使いになる時は、保管時にほこり・ゴミなどが付着している恐れがありますので、油槽内を清掃してください。

■ご使用方法

■操作パネル



■運転の手順

１．運転を開始します。

●「運転 ON/OFF」スイッチを押すと、「on」表示し、運転中ランプ（赤）が点灯します。
→運転を開始します。

●運転中は実温度を表示窓に表示します。
→点灯している「高低スイッチ」を押すと３秒間設定度表示に切り替わります。

●「△▽スイッチ」を押すと、設定温度を変更できます。
→３秒間設定度表示に切り替わります。

●実温度が設定温度近くになると適温ランプは点灯します。
→油温が設定温度に安定します。

２．運転を停止します。

●運転中に「運転 ON/OFF」スイッチを押すと、運転中ランプ（赤）が消灯し、表示窓に「.」ドットが点滅表示されます。
→運転を停止します。

３．１日の営業終了時など、しばらく使用しない場合は、運転を停止後、電源プラグを抜くか元電源を切ります。

●電源プラグは、左に回し、手前に引けば抜くことが出来ます。

■高低スイッチの設定温度記憶手順

１．運転を停止し、表示窓に「.」ドットが点滅表示となっている状態で、「運転 ON/OFF」スイッチを８秒間長押しします。この時、表示窓は「on」表示し運転中ランプ（赤）も点灯しますが、そのまま「運転 ON/OFF」スイッチを押し続け、表示窓に設定温度が表示され、運転中ランプが消灯しましたらスイッチを離してください。（表示窓が「on」表示時にスイッチを離しますと運転を開始しますので、必ず長押しし、上記表示となった後にスイッチを離してください。）
→運転停止のまま、電源 ON 状態となります。
→表示窓は、３秒後に実温度表示に切り替わります。

２．記憶させたい「高」又は「低」スイッチを長押しすると、選択した「高」又は「低」のランプ（緑）が点滅し、表示窓には現在記憶している設定温度が表示されます。

３．「△▽スイッチ」を押して設定温度を変更し、選択している「高」又は「低」スイッチを押して決定します。
→決定した「高」又は「低」のランプ（緑）が点滅から点灯になります。
→表示窓は設定した温度を３秒間表示し、実温度表示に切り替わります。

■お手入れ

■日常のお手入れ

１．　油槽の清掃

●油槽は、取り外すことができませんので、テーブルに付いた状態で油槽の中を水洗いしてください。（清掃後は、水分をよく拭き取ってから使用してください。）
汚れた油での使用は、火災の危険性にもつながります。使用回数が多い場合、最低週１回は、清掃してください。

注意！ コントールボックス等の機械に水をかけない様にしてください。

２．フィルターの清掃

●フィルターが汚れていれば、清掃してください。
●汚れがひどい場合は、中性洗剤で漬け置き洗いをし、自然乾燥させてください。

注意！ フィルターが濡れた状態で取付けないでください。

３．油受け皿の清掃

●油受け皿を清掃してください。
※油が溜まっている場合がありますので、注意してください。
※熱い場合がありますので油受け皿を動かす際は、注意してください。

注意！ 油受け皿が水で濡れた状態では取付けないでください。

■機器外面のお手入れ

●乾いた軟らかい布で拭いてください。
●落ち難い汚れは、ぬるま湯か中性洗剤をしみこませた布で拭いてください。その後、洗剤分が残らないように水拭きしてください。

■排油方法

１．　油槽カバー扉を開けてください。

●油槽カバー扉を開けると排油バルブのハンドルが見えます。
※油槽などに触れて火傷しないように注意してください。

２．　油受け皿を取外してください。

●油受け皿は中に油が溜まっている場合がありますので注意して取外してください。
※熱い場合がありますので油受け皿を動かす際は、気をつけてください。

３．　排油バルブの真下に排油を入れる容器を置いてください。

※排油を入れる容器は、排油する油量以上の容量がある容器を使用してください。

４．　排油バルブのハンドルをゆっくりと左に回して 開けてください。

※油が飛び散る可能性がありますので、十分に注意してください。
※排油中に素手でハンドルに触れると火傷します。

５．　排油が終わったら、排油バルブのハンドルを右に回して閉めてください。

●閉めても排油バルブの周りについた油が垂れるので、拭き取ってください。
●拭き取った後、排油を入れた容器をゆっくりと移動してください。
※容器が高温になっている可能性がありますので、容器を動かす際は火傷しない
ように注意してください。

６．　油受け皿を取付けてください。

●油受け皿は必ず清掃をしてから取付けてください。
※１０ページの「３.油受け皿の清掃」を読んで清掃してください。

７．　油槽カバー扉を閉めてください。

■点検

■電源プラグの点検（年に１～２回）

●電源プラグの刃の取付け面及びコンセントにほこりが溜まっていませんか。
・ほこりがついている場合は、ほこりを取除いてください。

●電源コードがキズ付いたり、束ねたり、重いものを載せたり、挟み込んだり、汚れていませんか。
・異常がある場合は、販売会社または電気店にご相談ください。

■保管方法

●電源プラグを抜き、直射日光を避け、湿気の無いところに保管ください。
・機器にほこりなどが入らないようにしてください。

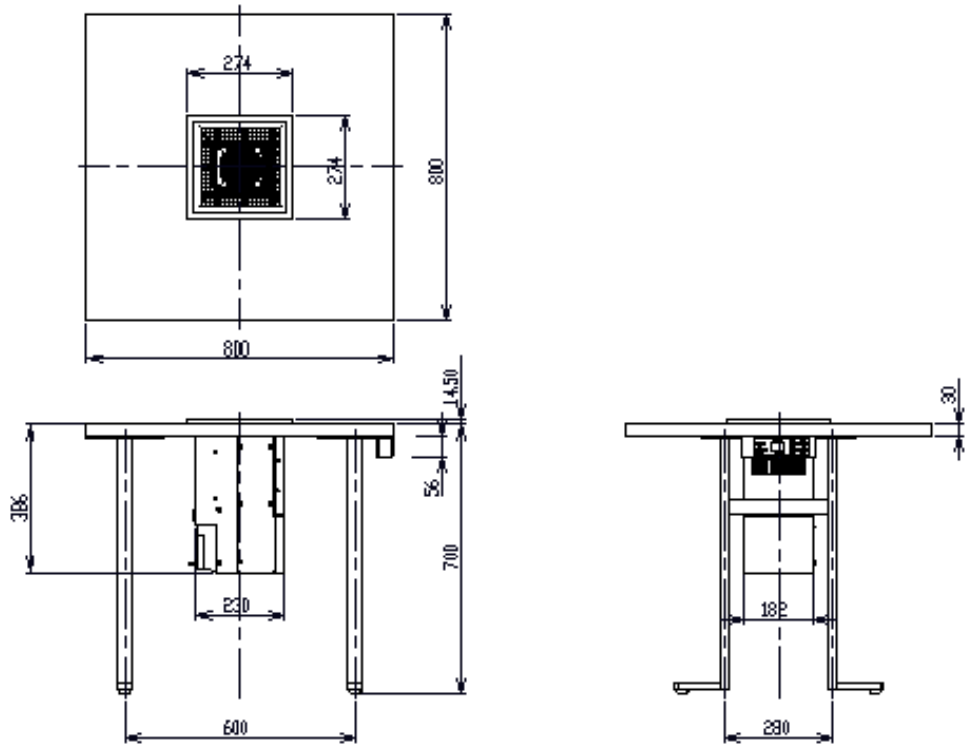
■故障の見分け方と処置方法

お願い！ 故障かな？と思ったら、次の事をお調べください。それでも具合の悪いときは、販売会社または最寄の当社営業所へご連絡ください。

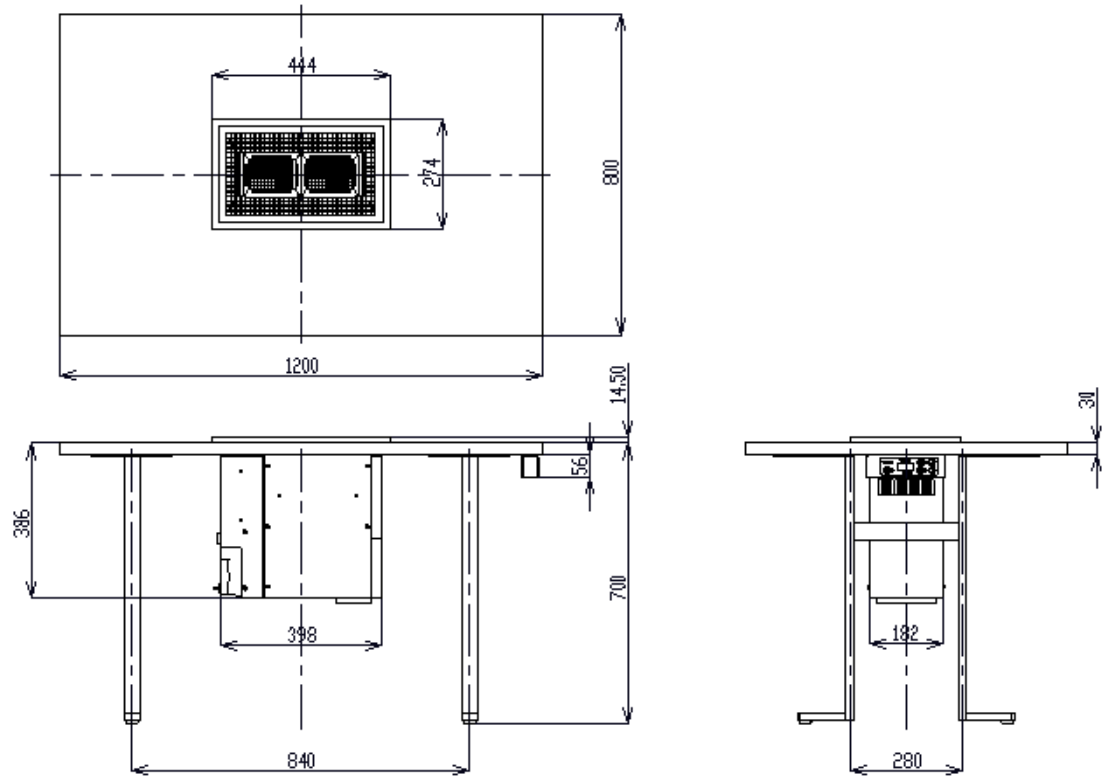
症状	原因	処置方法
表示窓に何も表示されていない	●漏電遮断器が OFF になっています。	●漏電遮断器を ON にしてください。
表示窓に、ｏＳと表示され運転を停止している	●温度センサーが正しく検知していません。	●温度センサーに異常がありますので、電源を切って運転を停止し、販売店に連絡してください。
表示窓に、ＳＬと表示され運転を停止している	●油温度が設定温度付近になるまでに時間がかかりすぎています。	●運転中は適温ランプが点灯するまで、食材を投入しないでください。 ●「運転 ON/OFF スイッチ」を押すとエラー解除します。
表示窓に、Ｅ41 と表示され運転を停止している	●機器に必要な電圧が高い、または低い。	●正しい電源を使用してください。 ●「運転 ON/OFF スイッチ」を押すとエラー解除します
	●ユニットが冷却不足となっています。	●フィルターを清掃してください。 ●「運転 ON/OFF スイッチ」を押すとエラー解除します
表示窓に、Ｅ42 と表示され運転を停止している	●油槽が空焚き状態となっています。	●油槽に適正な量の油を投入してください。 ●「運転 ON/OFF スイッチ」を押すとエラー解除します。
	●油が過昇温度状態になっています。	●油温が２００℃以下となるまで運転を停止してください。 ● 「運転 ON/OFF スイッチ」を押すとエラー解除します。
表示窓に、Ｅ95 と表示され運転を停止している	●コントロールパネルとユニットの通信に異常があります。	●電源を切って運転を停止し、販売店に連絡してください。
表示窓に、Ｅ96 と表示され運転を停止している	●コントロールパネルとユニットの通信に異常があります。	●電源を切って運転を停止し、販売店に連絡してください。
表示窓に、Ｅ97 と表示され運転を停止している	●コントロールパネルとユニットの通信に異常があります。	●電源を切って運転を停止し、販売店に連絡してください。
機器の金属部分に触れるとピリピリと不快な感触がある	●アースが接続されていません。	●有資格者によるアース工事を行ってください。

■仕様

品名	ＩＨテーブルフライヤー	
型式	DVA10SAA	DVB14SAA
電源（50/60Hz）	単相 ２００Ｖ	単相 ２００Ｖ
定格消費電力	１．０ｋｗ	１．４ｋｗ
質量（重量）	４３ｋｇ	４５ｋｇ
油槽寸法（幅×奥行㎜）	１４１×１０１	３１１×１０１
油槽容量	２．８Ｌ	５．８Ｌ
付属品	串置き 網かご フィルター 油受け皿 取扱説明書 高周波利用設備許可申請書類	串置き 網かご（2個） フィルター 油受け皿 取扱説明書 高周波利用設備許可申請書類



DVA10SAA の寸法



DVB14SAA の寸法

保　証　書

品　名	IH ﾃｰﾌﾞﾙﾌﾗｲﾔｰ
型　式	□ DVA10SAA □ DVB14SAA
お買上日	年　　月　　日
保証期間	1　年
お客様の 住　　所	
お名前	
販売会社 住　　所	

※必ず各欄をご記入ください。

●故障が発生した場合は本書記載内容により修理いたします。

1．保証期間内は無料修理いたします。
　ただし、次の場合は保証期間内でも有料になります。
　・誤った使用目的・使用方法・改造による故障。
　・落下・火災・地震など天災地変による故障。
　・消耗部品の交換。　　・保証書のないもの。
2．保証期間後は、修理できる製品についてご希望により有料修理いたします。
3．保証書は紛失されても再発行いたしません。
4．保証書は日本国内で使用される場合のみ有効です。
　(This warranty is valid only in japan.)
5．保証期間の内外に関わらず、機械の故障により発生した業務上の保証（操業保証）はいたしません。

CHUBU
株式会社 中部コーポレーション
●お客様窓口　TEL0594(32)1131
〒511－0944　三重県桑名市大字芳ヶ崎字堂ヶ峰1533の1

アフターサービスについて

●保証書は記載内容をご確認の上大切に保管してください。紛失されても再発行は致しません。

●保証書にお買い上げ日、販売会社など所定事項の記入がないと有効とはなりません。記入がないときはすぐにお買い上げの販売会社にお申し出ください。

●万一、故障した場合には、保証期間中は保証書の記載内容に準じて無料修理を致します。

●詳細は保証書をお読みください。

●保証期間内の修理などアフターサービスについてご不明のときは、お買い上げの販売会社、または、最寄りの当社営業所までご連絡ください。

CHUBU
株式会社 中部コーポレーション
●お客様窓口　TEL　0594(32)1131
フード機器事業部／三重県桑名市大字芳ヶ崎字堂ヶ峰1533の1　〒511－0944
東 京／TEL　03(5833)9968　大 阪／TEL　06(6788)2251
中 部／TEL　0594(32)1130　福 岡／TEL　092(474)1312

DVB14SAA004-0　2013-2-1